

東雲家族

未来へ紡ぐPTA活動 ～ 合言葉は“東雲家族”～

- ・ 広島大学附属東雲小学校 令和7年度PTA会長 佐渡 哲洋

本校の紹介



学校の概要

創 立

- 明治8年（1875年）広島県公立師範学校附属小学校として広島市内に創立。2025年で創立150周年を迎える。
- 昭和36年（1961年）特殊学級（現特別支援学級）開設
- 昭和48年（1973年）複式学級 開設
- 令和6年（2024年）ノースカロライナ州エクスプローリスエレメンタリースクールと姉妹校提携

※単式学級(32名) 複式学級 特別支援学級

の3つの学級形態をもつ全国でも唯一の附属学校

児童数 432名（令和7年度）

所在地

広島市南区東雲3丁目 1 番 3 3 号

広島市の南東に位置し、西側対岸にマツダ本社、北側対岸にマツダズームズームスタジアム、南側には江戸時代までは島だった黄金山がある

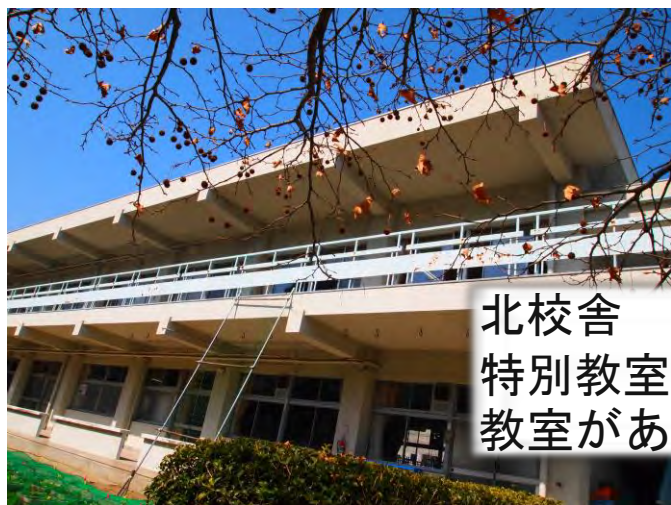




南校舎
屋上に見えるのがシンボル
にもなっている天文台



南校舎
正門側には「創立明治八年1
十月三十日」の文字が



北校舎
特別教室や特別支援学級の
教室がある

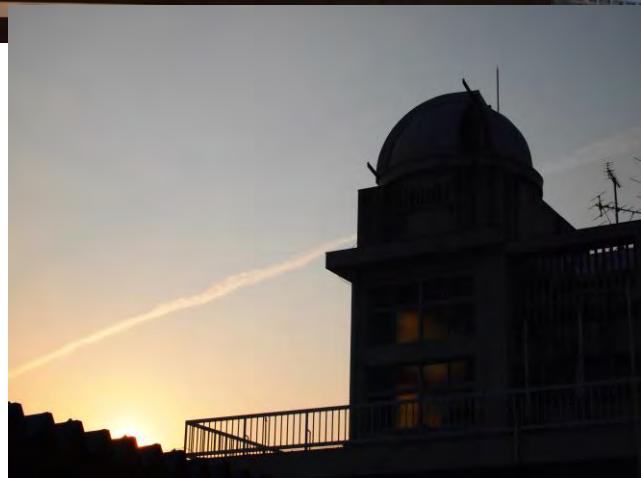


中庭
北校舎と南校舎の間にある
憩いの場 池や藤棚がある



運動場
広島市で一番広いが水はけ
があまりよくない……





特色や教育方針

＜学校教育目標＞

共生社会に生きる主体として自立的・協働的に学び育つ児童の育成

＜特 色＞

単式学級，複式学級，特別支援学級の3つの学級のつながりと，1年生から6年生までの異学年のかかわりを大切にしている。特に6年生は縦割り班や色組(4色)のリーダーとして中心的な役割を果たすようにしている。

また，4年生から海の学習(2泊3日)，5年生山の学習(2泊3日)，6年生旅の学習(3泊4日)を行うことで，自分たちで生活をつくる，自然や人とのふれあいを大事にする経験を通してたくましく生きる力を育てる。



PTAについて

- ・ 東雲小PTAの歩み
- ・ 組織図
- ・ 役員の決め方
- ・ 役員会の運営方法

東雲小PTAの歩み

記録に残っているもの



○明治34年（1901年）

教師と父母の会（一部児童の通学に関して家庭と教師の連絡として）

○明治44年（1911年）

学校より通学に関して全保護者へ自治組織「保護者会」を開くことを要請

○昭和5年（1930年）

通学だけでなく学校教育に積極的に協力していくことを目的に「保護者団」結成

○昭和23年（1948年）

米国の親の組織的な教育への高まりなどの影響を受け、「保護者団」を解散し「PTA」へ改組。バザー等精力的に開き設備などに当てる（各教室にラジオ、テレビ設置、給食設備6割負担など）

○昭和23年（1948年）

PTA機関誌「しののめ」1号発行（令和6年度で126号）

○昭和28年（1953年）

社会情勢により日本らしい名称をと「PTA」を「明珠会」に改称

○昭和42年（1967年）

それまで小中で1つの組織だった「明珠会」をそれぞれ分離独立し、小学校「PTA」として発足

組織について

執行部

会長（5年）	1名
副会長（4・3年）	2名
会計（2年）	1名
監査（6年・1年）	2名

常任幹事会

文化部

施設部

保険部

生活部

同好会 コーラス、やきもの、書道、茶道、華道

役員の決め方について



執行部は、基本的に6年間務める。

1年＝監査、2年＝会計、3・4年＝副会長

5年＝会長、6年＝監査



常任幹事及び各部の部員は、

2月に来年度の役員経験や希望のアンケートの実施

4月の集会で、希望の多い場合→くじ

希望がない場合→やっていない人の中でくじ



慣例上、常任幹事の幹事長・各部の部長は5年生の保護者が着任

役員会の開催

👉 年 4 回（今年度は、6 月・9 月・11 月・2 月）開催

👉 時間 19：00～20：00 頃

（校長・副校長・教頭・執行部は 18：30～から事前打ち合わせ）

👉 場所：小学校の多目的ホール

（11 月のみ飲食店で懇親会を兼ねて開催）

👉 出席者

教 員：校長先生、副校長先生、教頭先生、各部の担当の先生

保護者：執行部、各部の部長・副部长、常任幹事

役員会の開催

内容

- 1 PTA会長挨拶
- 2 学校長挨拶
- 3 諸連絡・協議事項
 - (1) 学校報告（副校長先生）
 - (2) 各部会報告
 - (3) 各学年報告
 - (4) 最近の子どもたちの様子
 - (5) その他・今後の見通し（教頭先生）
- ※ 会議終了後、部会ごとに会議をして流れ解散

保健部の活動について

- 球技大会
- 制服提供会

球技大会

球技大会の目的

保護者同士の親睦を深めることを目的としています。

実施方法の概要

ソフトバレーボール大会を開催し、1チーム9名で構成されます。得点が入るたびにローテーションで交代を行います。学年ごとに6チームに分かれ、リーグ戦と決勝戦を実施し、優勝チームと準優勝チームにはトロフィーが贈られます。

参加状況

保護者は約100名が参加（令和7年度）
担任の先生方も参加されます。



保護者間の親睦がもたらす効果

- 👉 子育てについての情報共有をすることで保護者のストレス軽減につながる
- 👉 先生への要望や学校全体の課題を共有することで、学びの環境改善にも繋がる
- 👉 学校行事やPTA活動の運営への協力がスムーズになる







制服提供会

実施内容・実施時期

毎年2月に開催。小さくなった等の事情で不要になった制服を新1年生に無償提供する会。



施設部

- 校内美化活動
- ベルマーク回収

校内美化活動

実施内容・実施時期

校内を清掃することで、安心かつ快適に新学期を迎えることを目的とし、さらに環境整備の先生方への感謝をこめて行うPTAによる校内清掃。毎年8月下旬に開催。

活動内容

側溝の清掃（泥やごみをかきだす作業）。余った時間でグラウンドに埋まっている石とり）

参加者：約80名









ベルマーク回収

令和7年度は、一輪車8台、車いす1台を購入



文化部の活動について

- ・ 機関誌「しののめ」の発行

PTA機関紙 「しののめ」の発行

主な内容（令和6年度）

○活動・行事の報告

(PTA、PTC、同好会、学校行事、委員会、クラブ活動等)

○“教師隨想”

○一年生の声（一番心に残った事）

○卒業の言葉（将来の夢）

などなど。

白黒・全74頁。



生活部の活動について

- 下校指導
- バスの乗り方教室



下校指導

下校時に、各所に保護者が立ち、生徒に対し下校の指導を行う。

年6回開催。（学年ごとに担当。例：9月は3年生の保護者）



バスの乗り方教室



常任幹事会の活動について

- 運動会の設営
- PTCの計画等

同好会活動

コーラス

やきもの

書道

茶道

華道

同好会の活動内容

同好会では在校生と卒業生が共に参加し、多様な活動やイベントを行います。

交流の意義

同好会は世代を超えた交流を促進し、知識や経験の共有を実現します。



コーラス同好会





やきもの同好会



書道教室

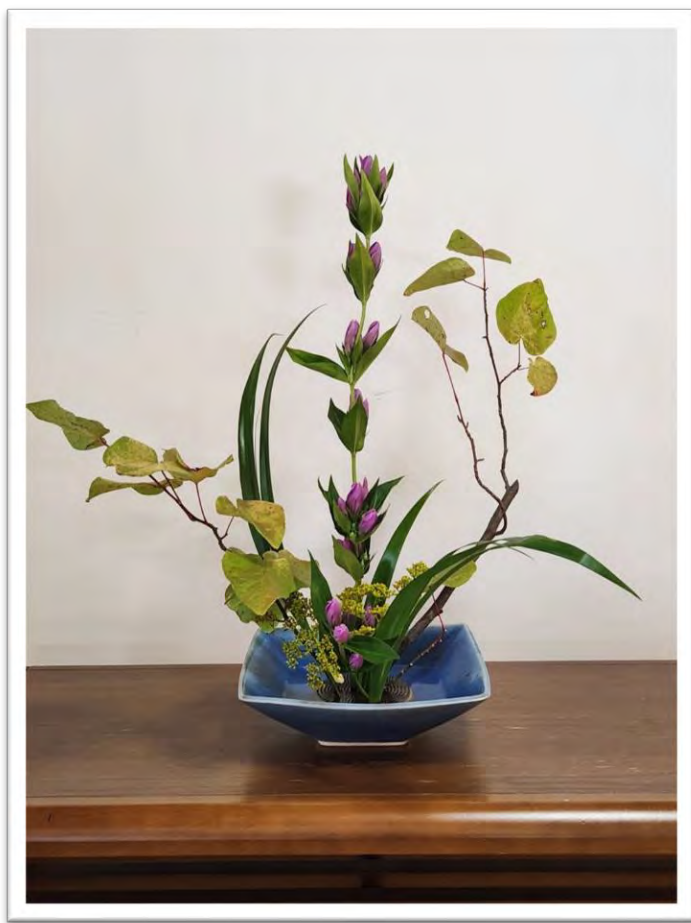




茶道同好会



華道同好会



まとめ 🌸 東雲小PTAを支える三つの力

👉 先生と保護者が共に歩み、支え合う力

先生と保護者が同じ目線で、同じ想いで。
ともに取り組む関係があるからこそ、信頼と安心の輪が広がっていく。

👉 世代をつなぎ、想いを受け継ぐ力

同好会や同窓会など、世代を超えたつながりが生まれる場所。
そこにあるのは、想いを受け継ぎ、未来へとつなぐ温かな絆。

👉 保護者のつながりが生む、支え合いの力

その穏やかな関係が、学校行事やPTA活動を支える大きな力になる。

歲歲金東